

秋の収穫も終わり、春まで農作業はひと休み。でもちょっと待ってください。片付けはすべて終わっていますか。来年気持ちよく使用できるように、今年一年の感謝とお礼の気持ちをこめて、作業道具を適切に保管しましょう。

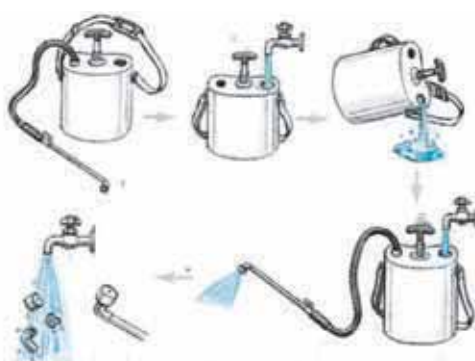
農薬の場合



農薬工業会HPより引用

使い残した農薬は開けたままにしておかず、しっかり蓋をして日のあたらない、涼しい場所に保管しましょう。保管に当たっては、子どもの手の届かないところや鍵のかかる倉庫に保管しましょう。残り少なくなったからといって、**農薬の他の容器への移し替えは絶対にしてはいけません。**

噴霧器の場合



使い終わったらすぐに水洗いします。ノズルを取り外し、圧力をかけながら強く水を出して完全に水がきれいになるまでよく洗浄します。ノズルは磨耗して霧の粒子が粗くなってきたら、適宜取り替える必要があります。

宮農

インフォメーション



EINOU

information

刈払機の場合 (写真は機STIHLのHPより引用)

刈払機の点検・整備を行う場合は**必ずエンジンを止めて**作業をしてください。故障や異常を感じたら、お近くのJ A大阪北部購買店舗までお持ち寄りください。



・1・
燃料の
抜き取り

刈払機を保管する前には、燃料タンクを完全に空にしてください。さらに、自然に停止するまで空運転して、キャブレター内の燃料を完全になくしてください。機械の汚れをチェックし、湿っている場合は完全に乾かして下さい。



・2・
刈刃の
チェック

刈刃を取り外して清掃します。刈刃に異常がないかチェックし、さび止めを塗ります。付属の刈刃カバーを取り付けて保管します。



・3・
点火プラグの
チェック

点火プラグを取り外して点検しましょう。点火プラグの電極が茶褐色ならば、正常に使用できます。そうでない場合は、点火プラグを清掃するか、または交換する必要があります。



・4・
最適な
保管方法

刈払機は、吊るした状態で保管するのが最適です。火気のない涼しいところに保管しましょう。

農作業道具の後片付け